

事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	ページ
21132	直営河川水路管理事業	都市整備部	みち水路メンテナンス課	2
51111	直営道路等管理事業費	都市整備部	みち水路メンテナンス課	3

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	都市整備部	課等名	みち水路メンテナンス課	担当G	総務担当	連絡先	948-6471	
部長等名	白石 浩人	課等長名	遠藤 敬二郎	リーダー	中藤 敏也	担当	倉岡 仁	

1.事業概要【Plan】

事業名	直営河川水路管理事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	1:直営	
21132							
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	災害等に強いまちをつくる		-	-	-	-	
施策	防災対策等の推進						
主な取組	浸水対策・かけ崩れ対策の推進	根拠法令	-				
取組みの柱	浸水対策の推進						
目的・背景	下水排水路の機能を保持し、浸水・悪臭等の防止を図り生活環境の保全向上を図ることを目的とする。						
対象・内容	市内一円の下排水路の洗浄・浚渫・詰り抜き・陥没補修・マンホール蓋維持修繕等を実施する。						

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	土木費	項	河川費	目	下水排水路費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	下水排水路の維持補修用資材の原材料費		4,974
予算(千円)	事業費計	16,640	15,352	17,269					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	16,640	15,352	17,269					
決算(千円)	事業費計	15,497	13,470			主な取組内容【R4】	洗浄・浚渫・詰り抜き・陥没補修・マンホール蓋維持修繕など		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	15,497	13,470						
人役	正規職員	38.0	30.0	37.0		特記事項			
	その他	11.0	20.0	21.0					
	合計	49.0	50.0	58.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	下水排水路の維持管理の向上(土砂回収)	目標	-	-	-	-	下水排水路の洗浄や浚渫を実施することにより悪臭等の防止を図り生活環境の保全向上を図ることができた。		
		実績	164	240					
	現状維持	件	達成率	-	-				
成果指標	下水排水路の維持管理の向上(土砂処分)	目標	-	-	-	-	下水排水路の機能を保持し、浸水・悪臭等の防止を図り生活環境の保全向上を図ることができた。		
		実績	2487	2483					
	現状維持	m ³	達成率	-	-				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	市民等からの通報に対しても迅速に対応することにより、下水排水路の機能を保持し、浸水・悪臭等の防止を図り生活環境の保全向上を図ることができたため。							
課題	特になし。下水排水路の機能を維持し、浸水・悪臭等の防止を図り生活環境の保全向上に資する。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	市民の生活環境を保全向上するためには、不可欠な事業であるため。		

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	都市整備部	課等名	みち水路メンテナンス課	担当G	総務担当	連絡先	948-6471	
部長等名	白石 浩人	課等長名	遠藤 敬二郎	リーダー	中藤 敏也	担当	倉岡 仁	

1.事業概要【Plan】

事業名	51111 直営道路等管理事業費	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	1:直営	
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	快適な生活基盤をつくる		-	-	-	-	
施策	居住環境の整備						
主な取組	生活道路等の整備・維持管理	根拠法令	道路法第16条(市町村道の管理)、道路法第42条(道路の維持又は修繕)				
取組みの柱	生活道路等の維持管理						
目的・背景	簡易な舗装補修工事、土木工事、除草、側溝及び水路、路面の清掃等を行うとともに、市民等からの緊急通報(陥没等)に対して迅速に対応することにより、市道の安全確保を図ることを目的とする。						
対象・内容	簡易な舗装補修工事、土木工事、除草、側溝及び水路、路面の清掃等を実施する。						

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	土木費	項	道路橋梁費	目	道路橋梁維持費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	市道等の維持補修用資材の原材料費		23,501
予算(千円)	事業費計	44,549	52,799	58,197					
	国費・県費								
	市債								
	その他	200	200	200					
一般財源	44,349	52,599	57,997		緊急維持作業に伴う交通誘導業務の委託料	3,753			
決算(千円)	事業費計	42,810	50,325			主な取組内容【R4】	簡易な舗装補修工事、カーブミラーの設置、除草、側溝及び水路、路面の清掃など		
	国費・県費								
	市債								
	その他	272	590						
一般財源	42,538	49,735							
人役	正規職員	38.0	30.0	37.0		特記事項			
	その他	11.0	20.0	21.0					
	合計	49.0	50.0	58.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	市道の適切な維持管理の向上	目標	-	-	-	-	市道の適切な維持管理ができた。		
		実績	1473	1689					
	現状維持	件	達成率	-	-				
活動指標	市道の適切な維持管理の向上(緊急対応)	目標	-	-	-	-	市民等からの緊急通報に対して迅速に対応することにより市道の安全確保を図ることができた。		
		実績	-	56					
	現状維持	件	達成率	-	-				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	市民等からの緊急通報に対して迅速に対応することにより市道の安全確保を図ることができたため。							
課題	市道の不具合に対して迅速に対応する。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	市道の安全確保の向上を図るには、不可欠な事業であるため。		